

取扱説明書 ポールバリカン PAB-1620

☐ 二重絶縁



このたびは、リョービ ポールバリカンをお買い上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

もくじ

ページ

安全上のご注意	1
ポールバリカンを安全に	7
お使いいただくために	
騒音について	9
二重絶縁について	9
各部の名称	10
仕様	11
付属品	11
用途	12
別販売品	12
ご使用前の準備	13
作業する場所の整理	
漏電しゃ断器設置のおすすめ	
延長コードについて	
ポールの取付け	
電源コードの接続	
ご使用前の点検	14
電源を確かめます	
スイッチ操作を確かめます	
ポールの取付けを確かめます	
電源プラグの接続を確かめます	
電源コンセントを確かめます	
ポールの取付け、取外し	16
ポールの角度調節	17
スイッチの扱い方	18
スライダの取外し、取付け	19
キワ刈りガイドの取外し、取付け	21
グラスレシーバの取外し、取付け	22
刈込み高さ調節	23
コードストラップの使い方	27
刈込み作業	28
上手な刈り方	30
ブレードの交換	33
ブレードのお手入れ	36
各部取付けネジの点検	37
使用後の手入れ	37
作業後の保管	37
修理について	37
保証書	裏表紙

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

保守と点検

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
- 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

■警告表示・注意表示について

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。














誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「△」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■絵表示について

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。				禁止	分解禁止	水ぬれ禁止
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。				必ず守る	よく読む	点検・確認
	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。				感電注意	回転部注意	

警告

作業環境



必ず守る

作業場は、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。



禁止

可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。

・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。



禁止

使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。

・ 注意が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。

電気に関する安全事項



必ず守る

電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造したり、アースした電動工具と一緒にアダプタプラグを使用しないでください。

・ 改造していない電源プラグと適切な電源コンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。



感電注意



必ず守る

パイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。

・ 感電するおそれがあります。



感電注意



水ぬれ禁止

電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。

・ 電動工具内部に水が入り、感電するおそれがあります。

・ 感電のおそれがあるので、ぬれた手で電源プラグに触れないでください。



感電注意

安全上のご注意

⚠ 警告

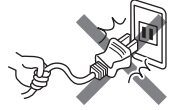
電気に関する安全事項



禁止

電源コードを乱暴に扱わないでください。

- ・電源コードを持って電動工具を運んだり、電源プラグを抜くために引っ張ったりしないでください。
- ・電源コードを熱、油、角のあるところや動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、からまって感電するおそれがあります。



感電注意



必ず守る

屋外で使用する場合、屋外使用に適した延長コードを使用してください。

- ・キャブタイヤケーブルの延長コードを使用すれば、感電のリスクが低減されます。



感電注意

作業者に関する安全事項



必ず守る

油断しないで十分注意して作業してください。

- ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。
- ・疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。
- ・一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。



禁止



必ず守る

安全保護具を使用してください。

- ・作業時は、常に保護めがねを使用し、必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴、ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用することで、傷害事故が低減されます。



必ず守る

不意な始動は避けてください。

- ・電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ・スイッチに指をかけて運んだり、スイッチがオンになった電動工具の電源プラグを電源コンセントにさし込むと事故の原因になります。

警告

作業者に関する安全事項



必ず守る

電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取外してください。

- ・電源を入れたときに、取付けたキーやレンチなどが回転して傷害のおそれがあります。



禁止

無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つことで、予期しない状況でも適切に操作することが出来ます。
- ・材料を動かして加工する製品を除き、クランプや万力などを利用し材料をしっかり固定して加工してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。



必ず守る

きちんとした服装で作業してください。

- ・回転部に巻込まれるおそれがあるので、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用せず、髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。



禁止



必ず守る

- ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- ・屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。



必ず守る

集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ・集じん装置を使用することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

電動工具の使用と手入れ



必ず守る

無理して使用せず作業に合った電動工具を使用してください。

- ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。



禁止

- ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。



点検・確認

スイッチに異常がないか点検してください。

- ・スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。ご使用前にお買い上げの販売店に修理を依頼してください。

安全上のご注意

⚠ 警告

電



電源プラグ
を抜く

意図しない電動工具の始動を防ぐために、次の場合はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電動工具の調整や刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合
- ・ 保管、または修理する場合
- ・ その他危険が予想される場合

動



必ず守る

使用しない電動工具は、乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。また、電動工具の操作に不慣れな方には電動工具を使用させないでください。

工



禁止

- ・ 不慣れな方のご使用は危険です。

具

の



点検・確認

電動工具の保守点検をしてください。

- ・ 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、通風口のつまり、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に変常がないか確認してください。
- ・ 保守点検が不十分な場合、事故の原因になります。
- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。

使

用



よく読む

- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
- ・ 取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

と

手



禁止

- ・ スイッチで始動、及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

入



必ず守る

- ・ スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- ・ 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合はお買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

れ

警告

電動工具の使用と手入れ



必ず守る

先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。

- ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。



必ず守る

電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせて、それらの取扱説明書に従ってご使用ください。

- ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

整備



分解禁止

電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。

- ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがのおそれがあります。



必ず守る

- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

保守と点検

ポールバリカンを安全に

ポールバリカンご使用に際して

●先に電動工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、ポールバリカンをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

警告

作業の前に	 必ず守る	使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。 ・表示を超える電圧で使用すると速度が異常に速くなり、故障、けが、火災の原因になります。	 100V
	 必ず守る	作業する箇所に電線などが無いことを作業前に確認してください。 ・電線などがあると、ブレードが触れ、感電や漏電のおそれがあり、事故の原因になります。	 感電注意
安全作業のため	 禁止	雨の中での作業や雨上がり、水やり（散水）直後のぬれた芝の刈込みはしないでください。 ・感電や漏電のおそれがあり、事故の原因になります。	 感電注意
	 必ず守る	使用中は、本体を確実に保持してください。 ・確実に保持していないと、けがの原因になります。	
のた	 回転部注意	使用中は、ブレードに手や顔などを近づけないでください。また、スイッチを切ってもブレードは数秒間、惰性で動いていますので注意してください。 ・けがの原因になります。	
	 禁止	セフティロックボタンを押込んだ状態で固定しないでください。 ・セフティ機構が働かず、けがの原因になります。	
めに	 必ず守る	停電などの時は必ず、スイッチを切ってください。 ・停電、プラグの外れ、ブレーカーが切れるなどにより、モーターが停止したときは必ずスイッチを切ってください。電源が回復したときに急に始動し、けがの原因になります。	
	 電源プラグを抜く	使用中に異物をかみこんでブレードが動かなくなったときは、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて異物を取り除いてください。	

お使いいただくために

警告

安全作業のために



点検・確認

誤って落としたり、ぶつけたときは、ブレードや本体などに破損、亀裂、変形がないことをよく点検してください。

・破損や亀裂、変形があるとけがの原因になります。



必ず守る

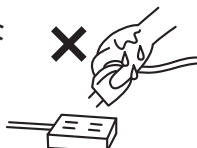
使用中、機械の調子が悪かったり異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。

・そのまま使用していると、けがの原因になります。



禁止

ぬれた手で、さし込みプラグを抜きさししないでください。



注意

作業前に安全作業のために



よく読む

ブレードや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。

・確実にないと外れたりし、けがの原因になります。



必ず守る

刈込みをする前に、芝生内の小石、枝など異物を取り除いてください。

・刃こぼれだけでなく、飛び散る石や破片などでけがの原因になります。



必ず守る

刈込み中、ブレードを無理に押しついたりすると、ブレードが破損することがありますので注意してください。



必ず守る

使用中、コードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

・感電の原因になります。



感電注意

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

保守と点検

ポールバリカンを安全にお使いいただくために

⚠ 注意

安



必ず守る

本機は芝の刈込みや、庭木の新芽、新葉の刈込みに使用してください。指定以外の用途（雑草や小枝の刈込みなど）に使用しないでください。

・けがや故障の原因になります。

全



禁止

スイッチを引いた状態で固定しないでください。

・けがの原因になります。

作

業



必ず守る

運転させたまま、本機を放置しないでください。

・けがの原因になります。

の



禁止

作業直後のブレードは、高温になっていますので触れないでください。

・やけどの原因になります。

た

め



必ず守る

使用しないときや持ち運び、部品交換のときは、ブレードがむき出しにならないようにブレードカバーをして、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

・けがの原因になります。

に



必ず守る

ブレードの交換や研磨などブレードの取扱いには十分注意をし、手袋や布などで手を保護してください。

・けがの原因になります。



騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

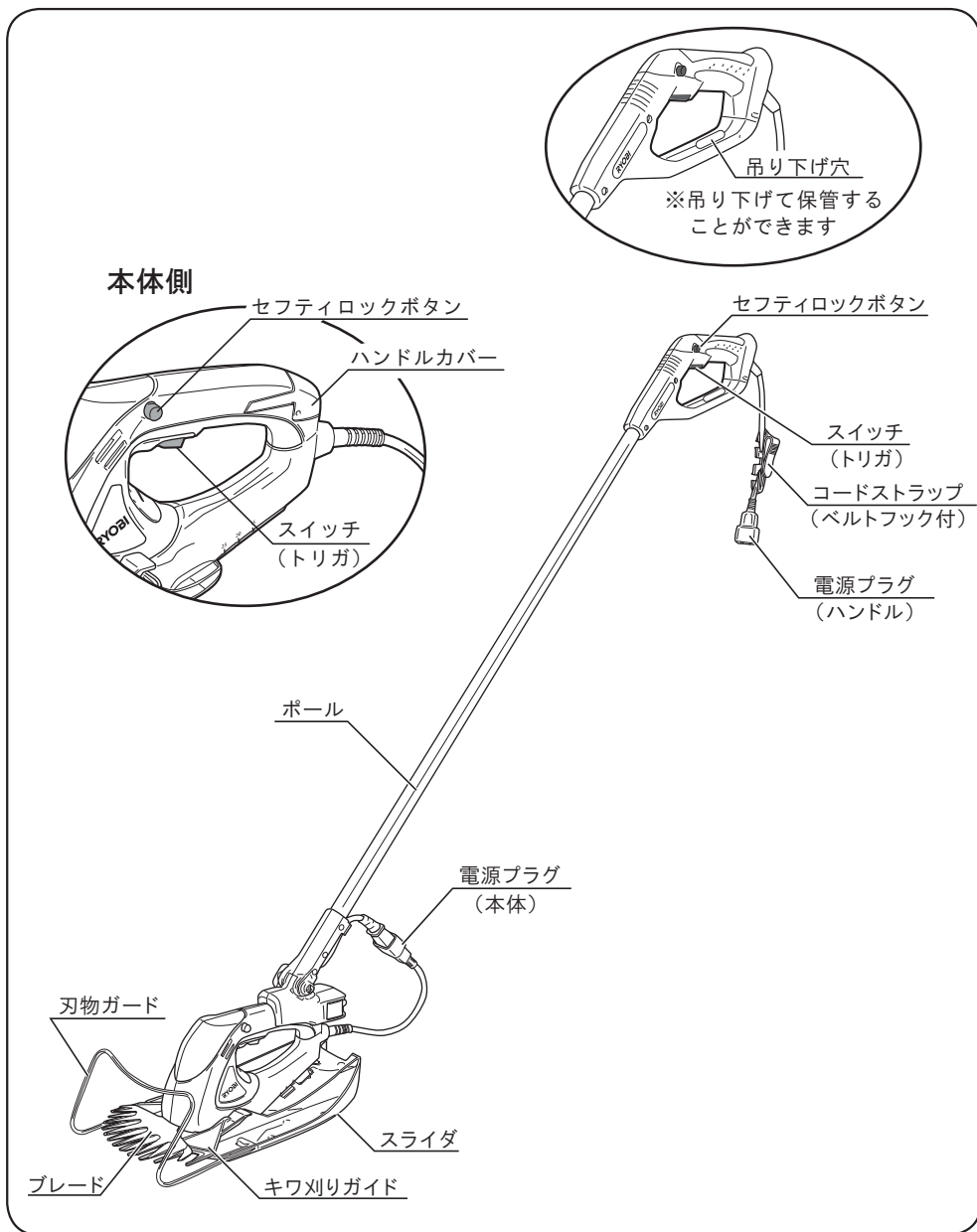
二重絶縁について

二重絶縁とは、電気回路と使用者の間が異なる2つの絶縁物により絶縁され、感電に対する安全性が高くなった構造を言います。このためアース(接地)する必要がありません。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

主要機能・名称

■各部の名称



安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

保守と点検

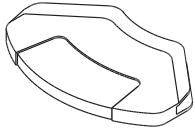
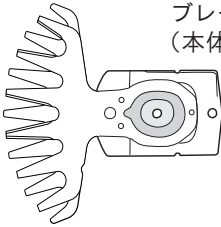
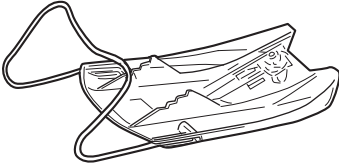
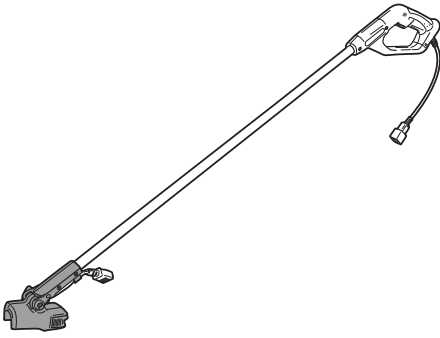
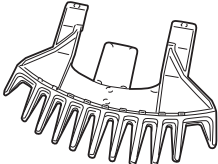
仕様・付属品

■仕様

- ・電源 単相・交流 100V 50/60Hz
- ・定格電流 0.9 A
- ・消費電力 80 W
- ・無負荷ストローク数 1,250 min⁻¹
- ・刈込み幅 160 mm
- ・刈込み高さ 15, 20, 25 mm
- ・ブレード駆動方式 両刃駆動
- ・本体寸法（長さ×幅×高さ） 1365 × 178 × 850 mm
ポール取外し時 340 × 178 × 126 mm
- ・コード長さ 0.25 m
- ・質量* 1.75 kg
- ・絶縁方式 二重絶縁

※ スライダ、キワ刈りガイド、ポールを含む

■付属品

ブレードカバー（本体取付） 1 	ブレード 1 （本体取付） 
スライダ（本体取付） 1 	ポール 1 
キワ刈りガイド 1 （本体取付） 	

用途・別販売品

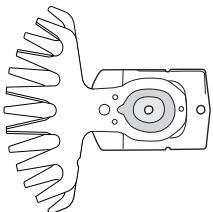
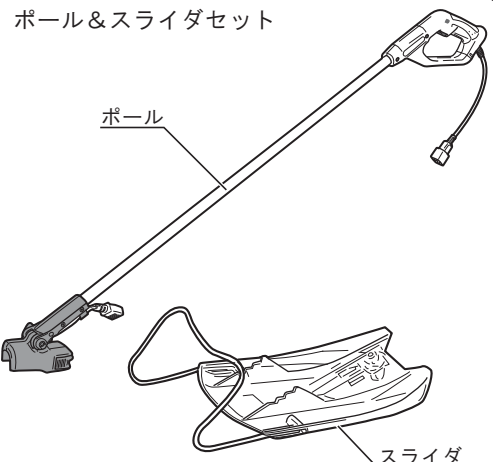

■ 付属品

<p>グラスレシーバ…… 1</p> 	<p>コードストラップ …… 1 (ベルトフック付 / 本体取付)</p> 	<p>延長コード…………… 1 (10m)</p> 
---	---	--

■ 用途

- ・ 芝の刈込み、キワ刈り
 - ・ 庭木の新芽、新葉の刈込み
- ※ 庭木の新芽、新葉の刈込みの際は、ボール、スライダを取外してください。

■ 別販売品

<p>ブレード 160mm</p> 	<p>ボール&スライダセット</p>  <p>ボール</p> <p>スライダ</p>
<p>刃研ぎ用研磨セット</p>  <p>刃研ぎ用研磨材 筆（研磨材塗付用） ダイヤモンドヤスリ</p>	



- ・ 別販売品は純正品をお買い求めください。
- ・ 別販売品の詳細につきましては、総合カタログを参照していただくか、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
- ・ 別販売品は予告なく変更することがあります。

準備

■ご使用前の準備

●作業する場所の整理

- ・芝の刈込みをする前に、小石や枝などの異物をよく取り除いてください。

●漏電しゃ断器設置のおすすめ

- ・本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置が免除されていますが、万一の感電防止のために、定格感度電流が30mA以下の漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

●延長コードについて（付属品の延長コードで足りないときに別途用意してください。）

警告



必ず守る

- ・延長コードは損傷のないものを用意してください。

- ・付属品の延長コード（10m）では電源からの距離が遠く、長さが足りない場合には別の延長コードを用意してください。

右表「コードの太さ（導体公称断面積）と最大の長さ」を参考にして、製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さで、できる限り短いコードを使用してください。

コードの太さ	最大の長さ
0.75mm ²	20m
1.25mm ²	30m
2.0mm ²	50m

●ポールの取付け

- ・本体にポールを取付けてください。
（16 ページ「■ポールの取付け、取外し」参照）

●電源コードの接続

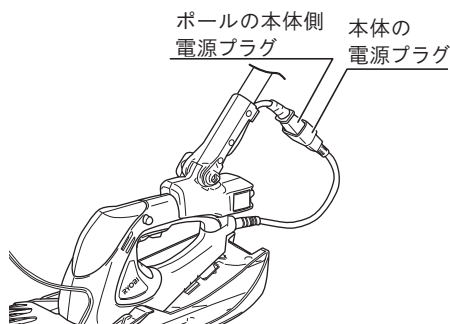
警告



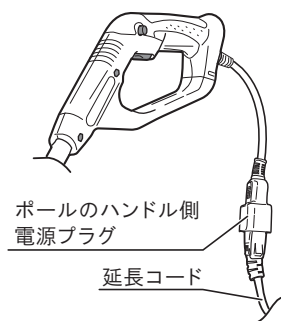
必ず守る

- ・電源プラグを接続する前にスイッチが切れていること、延長コードの電源プラグが電源コンセントに接続されていないことを確認してください。
- ・ポールを取付けて使用するときは、本体の電源プラグを直接延長コードに接続しないでください。ポール側でのスイッチ操作ができず、不意に始動するおそれがあり危険です。

1. 本体の電源プラグとポールの本体側の電源プラグを接続します。



2. ポールのハンドル側の電源プラグを延長コードに接続します。



ドラム式の延長コードを使用する場合は、発熱などによる電圧低下や火災事故を防止するために、コードを全て引出して使用してください。

■ ご使用前の点検

警告

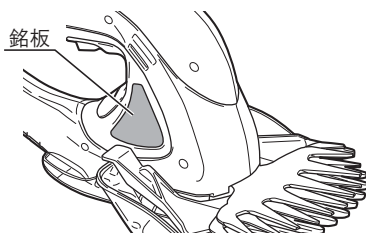


点検・確認

- ・ ご使用前に次のことを確認してください。
 - ①～④項については、電源プラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントにさし込む前にスイッチが切れていることを確認してください。不意に起動し思わぬ事故の原因になります。

① 電源を確かめます

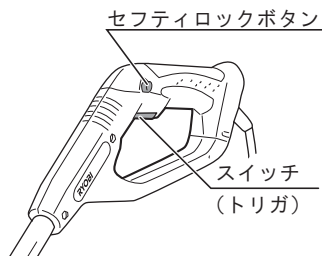
- ・ 必ず銘板に表示してある電圧（100V）で使用してください。表示を超える電圧で使用すると速度が異常に速くなり、故障、けが、火災の原因になります。



準備

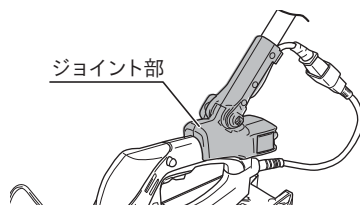
② スイッチ操作を確かめます

- ・ スイッチはセフティロックボタンを押しながらトリガを引くと入り、トリガを放すと切れます。トリガを放したとき、トリガが戻ることを必ず確認してください。



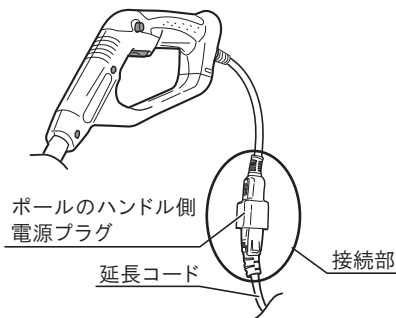
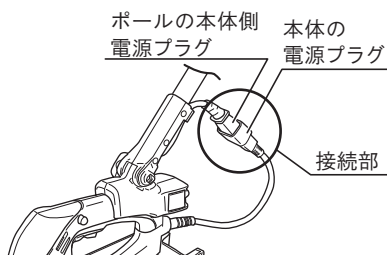
③ ポールの取付けを確かめます

- ・ ポールのジョイント部にゆるみ、ぐらつきがないことを確認してください。



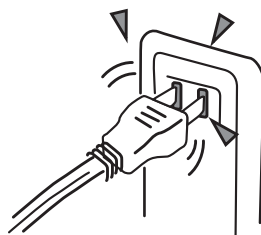
④ 電源プラグの接続を確かめます

- ・ 接続部が確実にさし込まれていることを確認してください。付属品のコードストラップに通すと接続部が抜けにくくなります。(27 ページ「**■**コードストラップの使い方」参照)



⑤ 電源コンセントを確かめます

- ・ 電源プラグをさし込んだとき、電源コンセントがガタついたり、電源プラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと、事故や故障の原因になります。



使い方

■ ポールの取付け、取外し

警告



電源プラグ
を抜く

- ・ ポールの取付け、取外しの際は、スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

注意



必ず守る

- ・ ポールの脱着のときは、必ず本体を作業台や床の平らなところに置いて行なってください。破損やけがの原因になります。

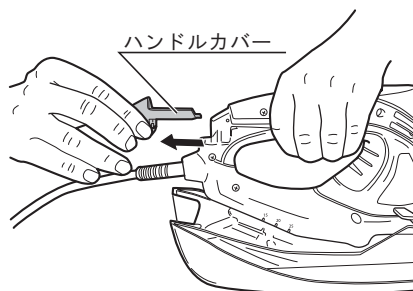
- ・ ポールを取付けることにより、立ったまま刈込み作業ができます。
- ・ ポールの取付けは、下記の手順でポールのジョイント部を本体のハンドル部に取付けてください。

(取付け)

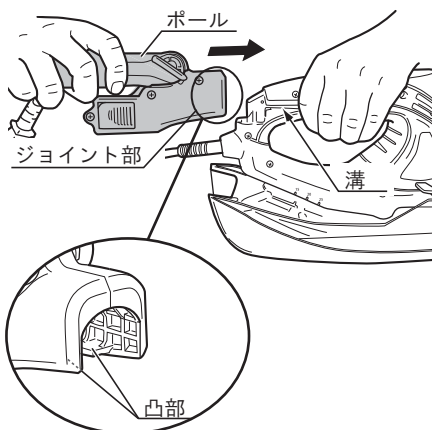
1. ハンドルカバーを取外します。
 - ・ ハンドルカバーを矢印の方向に引抜きます。



- ・ ハンドルカバーの脱落防止のため本体のハンドルに引っ掛かりがあります。取外しの際にハンドルカバーが引っ掛かった場合、再度矢印方向に引っ張ってください。
- ・ ハンドルカバーはなくさないように保管してください。



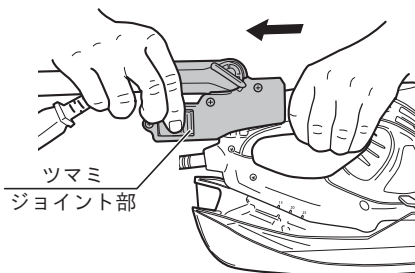
2. 本体のハンドルにポールを取付けます。
 - ・ 本体ハンドル両側の溝にポールのジョイント内側にある凸部を合わせてまっすぐさし込みます。「カチッ」と音がするまで確実にさし込んでください。



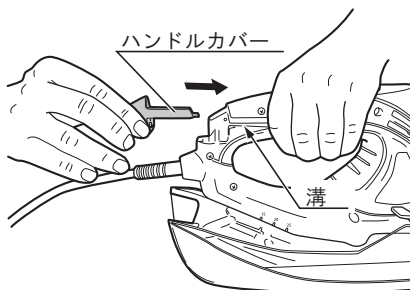
使い方

(取外し)

1. 本体からポールを取外します。
 - ・ ジョイント部の両側のツマミを押えて矢印方向に引抜きます。



2. ハンドルカバーを取付けます。
 - ・ ハンドルの溝にハンドルカバーをさし込みます。
 - 「カチッ」と音がするまで確実にさし込んでください。

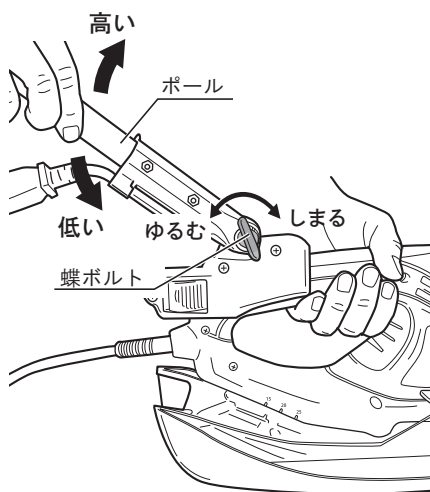


■ ポールの角度調節

- ・ 背の高さに応じてポール角度の調節ができます。

(調節方法)

- ・ 蝶ボルトをゆるめ、ポールを矢印(高い/低い)方向に動かし、作業に適した角度に調節します。
- 調節後は、蝶ボルトをしっかりと締付けてください。



■スイッチの扱い方

⚠ 警告

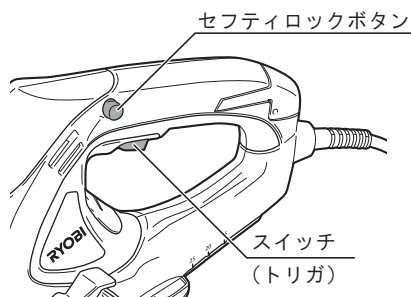


必ず守る

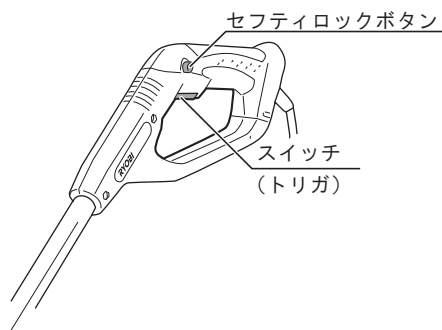
- ・ 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると速度が異常に速くなり、故障、けが、火災の原因になります。
- ・ 使用しないときはスイッチに手をかけないでください。不意に始動して、けがのおそれがあります。
- ・ セフティロックボタンを押込んだ状態で固定しないでください。セフティ機構が働かず、けがの原因になります。

- ・ 本機はセフティスイッチを採用しています。セフティロックボタンを押さなければスイッチは入りません。
- ・ 電源プラグを電源コンセントに接続するときは、スイッチが切れていることを確認してください。
- ・ スイッチは、セフティロックボタンを押しながらトリガを引くと入ります。切るときはトリガを放すだけで切れます。

(ポールなしの場合)



(ポールを付けて使用する場合)



使い方

■スライダの取外し、取付け

⚠ 警告



電源プラグ
を抜く

- ・スライダの取外し、取付けのときは、スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

⚠ 注意



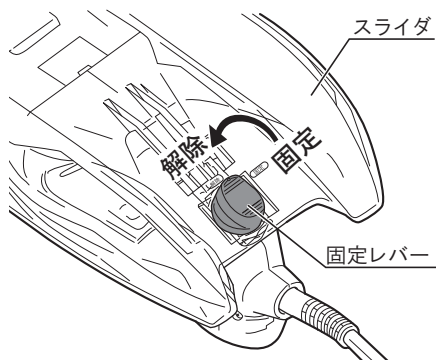
必ず守る

- ・スライダの取外し、取付けのときは、必ずブレードにブレードカバーを付け、手や顔などが直接ブレードに触れないようにしてください。けがの原因になります。

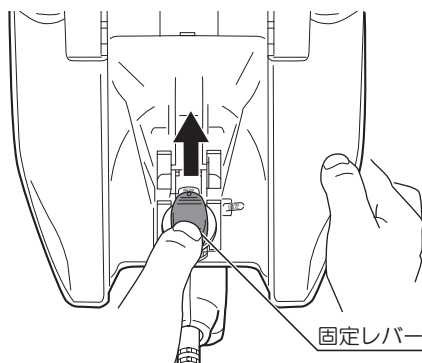
・スライダを取付けて作業すると、刈取った芝草を受け止め、作業後の清掃が楽になります。

(取外し)

1. 本体を裏返し、固定レバーを“固定”から“解除”に切替えます。

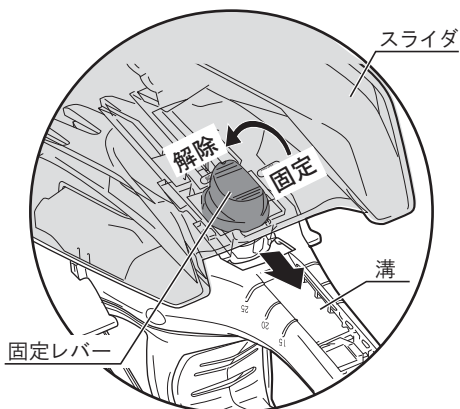
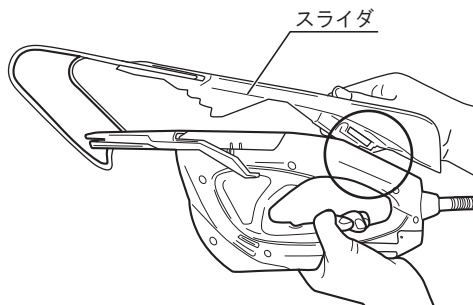


2. 固定レバーを押さえながら、矢印の方向にスライドさせて取外します。

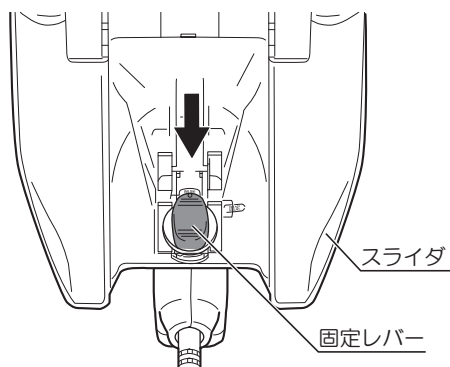


(取付け)

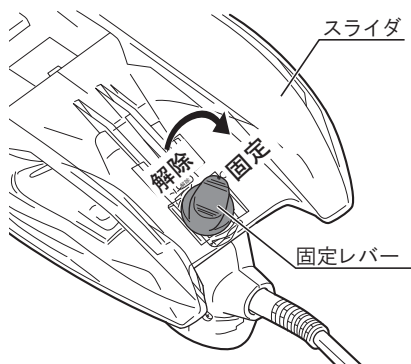
1. 固定レバーを解除位置にして、本体の溝にスライダをさし込みます。



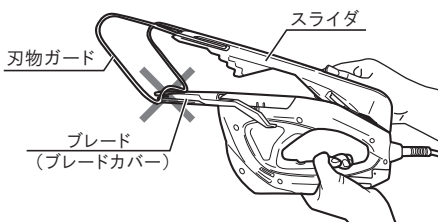
2. 固定レバーを持ちながら矢印の方向にスライドさせて取付けます。



3. 作業中にスライダが外れないように固定レバーを“解除”から“固定”に切換えます。



- ・ 刃物ガードとブレード(ブレードカバー)が接触しないよう取付けに注意してください。



使い方

■キワ刈りガイドの取外し、取付け

⚠ 警告



電源プラグ
を抜く

- ・キワ刈りガイドの取外し、取付けのときは、スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

⚠ 注意



必ず守る

- ・キワ刈りガイドの取外し、取付けのときは、必ずブレードにブレードカバーを付け、手や顔などが直接ブレードに触れないようにしてください。けがの原因になります。

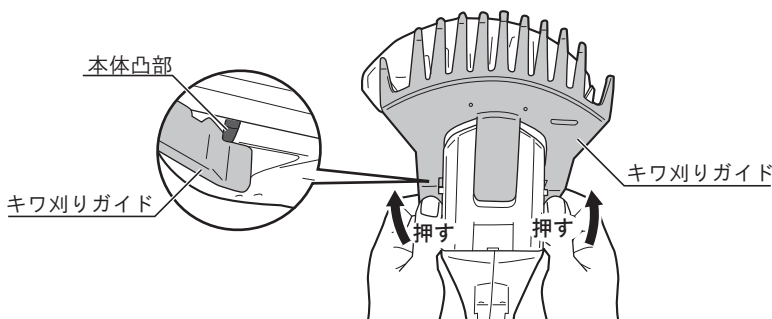
- ・キワ刈りガイドを取付けて作業すると、壁際の芝を刃に寄せて刈取ることができ、壁や刃を傷付けずにキワ刈りが行なえます。



- ・伸びすぎた芝や密集した芝の刈込みの際は、キワ刈りガイドは取外してください。

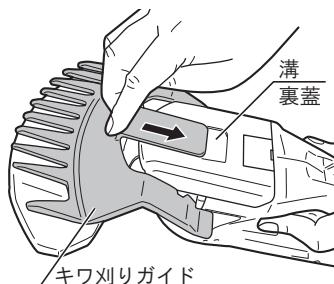
(取外し)

- ・キワ刈りガイドの両端を矢印方向に押し、本体の凸部から外して取外します。



(取付け)

- ・本体裏蓋の溝にキワ刈りガイドの凸部をさし込んで取付けます。「カチッ」と音がするまで確実にさし込んでください。



■ グラスレシーバの取付け、取外し

警告



電源プラグ
を抜く

- ・ グラスレシーバの取付け、取外しのときは、スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

注意



必ず守る

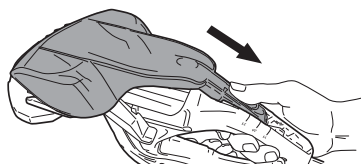
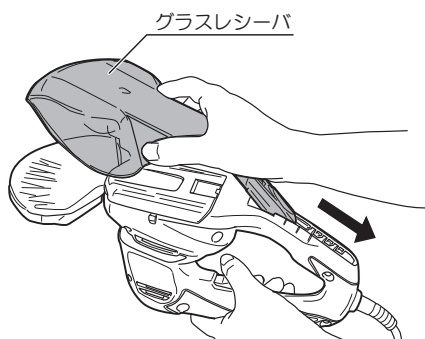
- ・ グラスレシーバの取付け、取外しのときは、必ずブレードにブレードカバーを付け、手や顔などが直接ブレードに触れないようにしてください。けがの原因になります。

- ・ グラスレシーバを取付けて作業すると、刈取った芝草を受け止め、作業後の清掃が楽になります。

※ グラスレシーバを取付けるときは、ポール、スライダは取外してください。

(取付け)

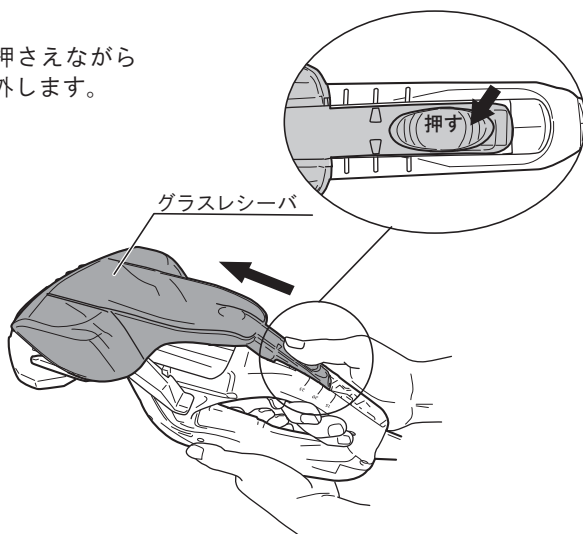
- ・ 本体の溝にグラスレシーバをさし込み、**(押す)**位置を押さえながら矢印の方向にスライドさせて取付けます。



使い方

(取外し)

- ・グラスレシーバの(押す)位置を押さえながら矢印の方向にスライドさせて取外します。



■刈込み高さ調節

⚠ 警告



電源プラグ
を抜く

- ・刈込み高さを調節するときは、スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動による、けがの原因になります。

⚠ 注意



必ず守る

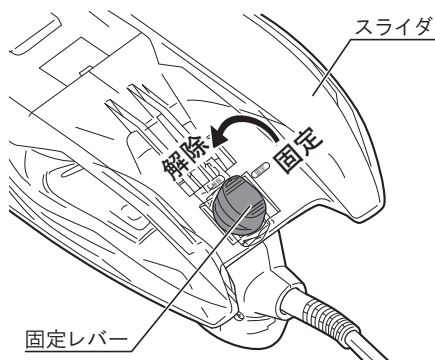
- ・刈込み高さを調節するときは、必ずブレードにブレードカバーを付け、手や顔などが直接ブレードに触れないようにしてください。けがの原因になります。

●スライダの場合

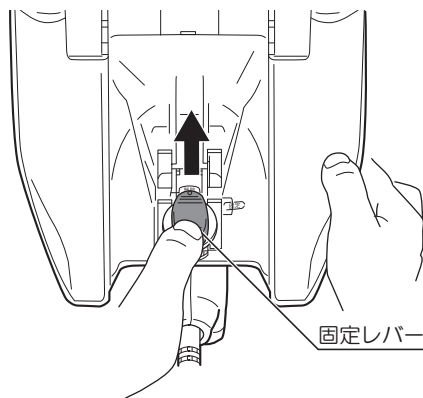
- ・スライダを動かして、芝の刈込み高さを3段階(15,20,25mm)に調節することができます。
- ・ブレードが芝面と平行移動するので、芝を均一な高さに刈込みできます。

(調節方法)

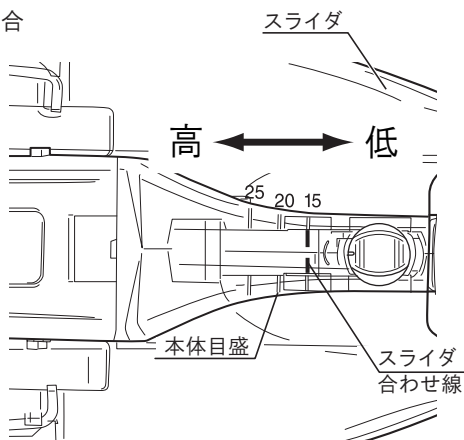
1. 本体を裏返し、スライダの固定レバーを“固定”から“解除”に切替えます。



2. 固定レバーを押さえながら、矢印の方向にスライドさせます。

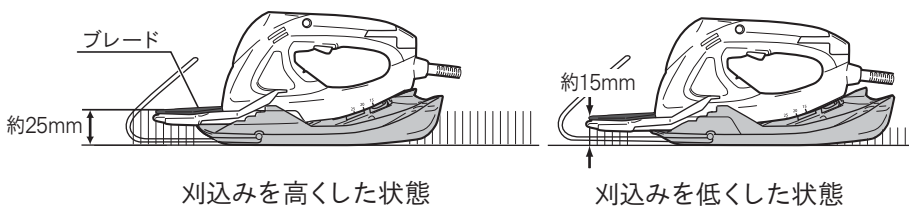
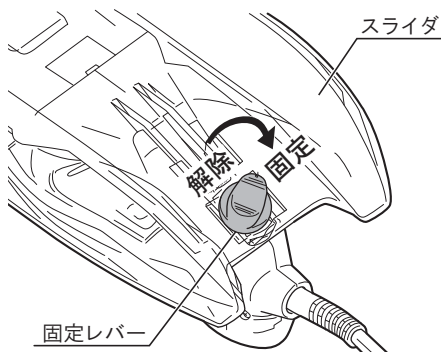


3. スライダの合わせ線と本体の目盛の位置を合わせます。



使い方

4. 作業中に刈込み高さが変わらないように固定レバーを“解除”から“固定”に切替えます。



必ず守る

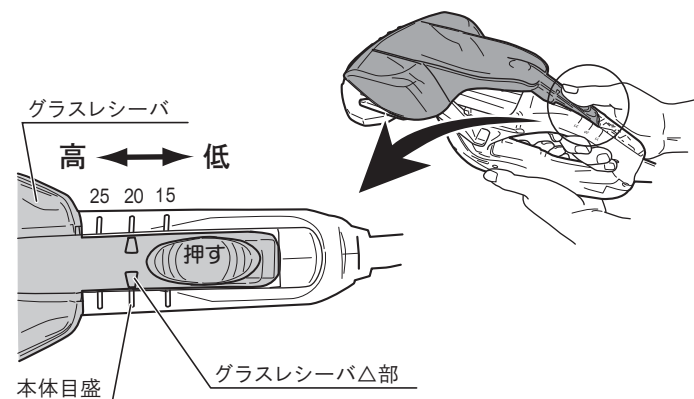
- ・スライダを外した状態で、ポールを使用しないでください。
裏蓋外れの原因になります。

●グラスレシーバの場合

- ・ グラスレシーバを動かして、芝の刈込み高さを3段階（15,20,25mm）に調節することができます。グラスレシーバを外して使用すると、刈込み高さは約10mmになります。
- ・ ブレードが芝面と平行移動するので、芝を均一な高さに刈込みできます。

（調節方法）

1. グラスレシーバにある（押す）の位置を押さえながらスライドさせます。
2. グラスレシーバの△部と本体の目盛の位置を合わせます。



刈込みを高くした状態



刈込みを低くした状態



グラスレシーバを外した状態

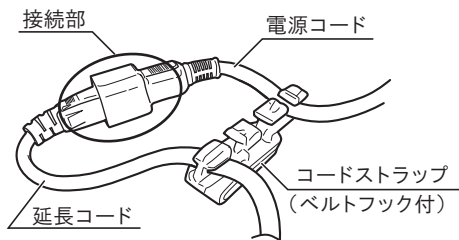
使い方

■コードストラップの使い方

●電源コード、延長コードの接続

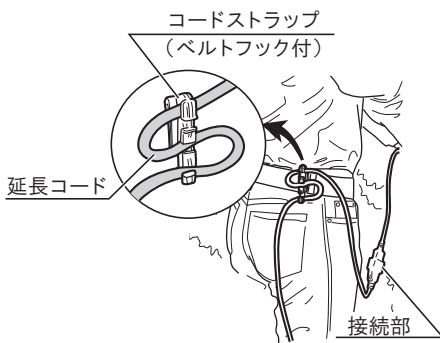
- ・電源コード、延長コードを右図のようにコードストラップに通すと接続部が抜けにくくなります。

※市販の延長コードは、太さによってはコードストラップを使用できないことがあります。



●コードストラップを腰に取付ける

- ・延長コードを右図のようにコードストラップに通し、腰のベルト、ポケットなどに引っ掛けて作業をすると、延長コードがたるむことによる不意なコード切断を防止する効果があります。
- ・コードストラップを取付ける場合は、接続部が右図の位置にくるように取付けてください。



刈込み作業

警告



必ず守る

- ・使用中は、本体を確実に保持してください。確実に保持しないと、けがの原因になります。
- ・無理な姿勢で作業しないでください。常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ・使用中は、保護めがねを使用してください。
- ・使用中は、ブレードに手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。
万一、異物をかみ込んだときは、直ちにスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いた後、異物を取除いてください。
- ・雨の中での作業や雨上がり、水やり（散水）直後のぬれた芝の刈込みはしないでください。感電や漏電の恐れがあり、事故の原因になります。

注意



必ず守る

- ・本機は芝の刈込みや、庭木の新芽、新葉の刈込みに使用してください。指定以外の用途（雑草や枝の刈込みなど）に使用しないでください。
 - ・けがや故障の原因になります。
 - ・指定以外の用途（雑草や枝の刈込みなど）に使用すると、早期に刃物が切れなくなり、また故障の原因にもなります。
- ・炎天下での作業はできる限り避けてください。炎天下で作業をする場合には、暑さ対策をし、体調に十分注意してください。
- ・ブレードや付属品は、取扱説明書に従って、確実に取付けてください。確実にないと外れたりし、けがの原因になります。
- ・刈込みをする前に、小石・枝など異物がないことを確認してください。刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。

電源プラグ
を抜く

- ・使用中、コードを切断しないよう注意してください。万一、コードを傷つけたり誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。感電の原因になります。



感電注意

使い方



必ず守る

- ・使用前と作業中の1時間に1回程度は、ブレードに注油（マシン油、機械油など）をしてください。注油は適量とし、余分な油はふき取ってください。
- ・作業途中（休憩時など）に、本機を直射日光の当たる場所、高温になる場所に放置しないでください。モーターの冷却が十分に行なわれず、モーター焼けや機械故障の原因になります。
- ・モーターがロックしたり、回転が落ちるような使い方は、モーター焼けの原因になります。負荷をかけ過ぎないように使用してください。
- ・連続使用の場合、負荷のかけ過ぎで使用を続けるとモーター焼けの原因になります。本体が熱くなるときは、使用を中止して温度が下がるまで待ってください。
- ・連続作業は疲労のため事故の原因になります。1回の作業時間は30分を目安とし、10～20分休憩してください。
- ・伸びすぎた芝や密集した芝の刈込みの際は、キワ刈りガイドは取外してください。



禁止

- ・刃先を下げて使用しないでください。刃先が土や小石に触れた状態で使用すると、ブレードの切れ味が悪くなります。

●立ったままの姿勢で芝刈り（ポールを取付けて使用する場合）

（作業手順）

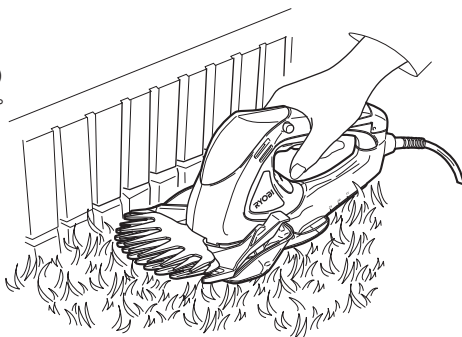
1. 本体にポール、スライダを取付ける。
（16～17ページ「**■**ポールの取付け、取外し」参照）
（19～20ページ「**■**スライダの取外し、取付け」参照）
2. 必要に応じて刈込み高さを調節します。
（23～25ページ「**■**刈込み高さの調節 **●**スライダの場合」参照）
3. 本体の電源プラグとポールの本体側の電源プラグを接続し、
ポールのハンドル側の電源プラグを延長コードに接続する。
（13～14ページ「**●**電源コードの接続」参照）
4. 延長コードの電源プラグを電源コンセントにさし込む。
5. ハンドルのスイッチを入れる。
（18ページ「**■**スイッチの扱い方」参照）
6. 刈込み作業する。
（30～32ページ「**■**上手な刈り方」参照）
7. 作業が終わったらスイッチを切り、
電源プラグを電源コンセントから抜く。



●手元で操作（ポールなしの場合）

（作業手順）

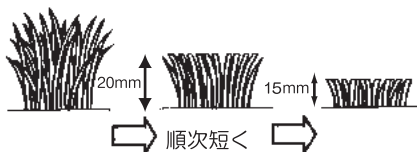
1. 本体にグラスレシーバを取付ける。
（22～23 ページ「**■**グラスレシーバの取付け、取外し」参照）
2. 必要に応じて刈込み高さを調節します。
（26 ページ「**■**刈込み高さの調節 ●グラスレシーバの場合」参照）
3. 本体の電源プラグを延長コードに接続する。
4. 延長コードの電源プラグを電源コンセントにさし込む。
5. スイッチを入れる。
（18 ページ「**■**スイッチの扱い方」参照）
6. 刈込み作業する。
（30～32 ページ「**■**上手な刈り方」参照）
7. 作業が終わったらスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜く。



■上手な刈り方

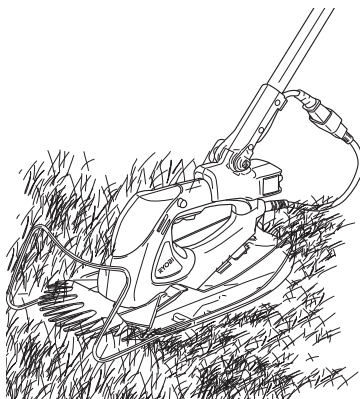
●長い芝は日をおいて順次短く

- ・芝があまり伸びないうちに刈ってください。
- ・芝が伸びすぎたときは、日をおいて順次短く刈ってください。
最初から短く刈ると、機械に無理が生じると同時に、芝を枯らすおそれがあります。



●芝の刈込み（ポール・スライダ取付け時）

- ・本体を芝の上に置き、スライダを利用し、すべらせるようにして、ゆっくり前進しながら刈込みます。
- ・スライダの高さ調節を行なうことにより、安定した刈込みができます。
（23～25 ページ「**■**刈込み高さ調節」参照）



使い方

●キワ刈り

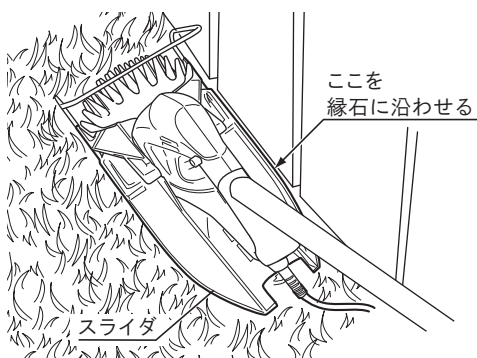


必ず守る

- ・刃横を縁石に当てると跳ね返ります。
- ・ブレードにかえりや傷がついた時は、モーター焼けの原因となります。ダイヤモンドヤスリなどで修正するか、新しいブレードと交換してください。

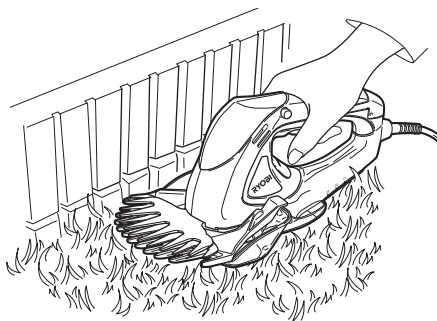
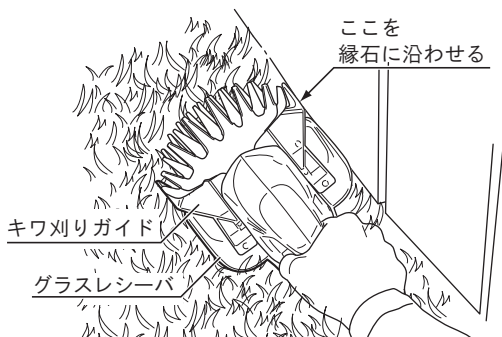
(スライダ取付け時)

- ・スライダの側面を縁石に沿わせて刈込んでください。



(グラスレシーバ取付け時)

- ・キワ刈りガイドの側面を縁石に沿わせて刈込んでください。



芝は手入れをするほど美しく育ちます。伸びすぎないうちにこまめに刈込んでください。刈取った芝は、かき集めて取除いてください。残していると、枯れて見苦しいだけでなく、病虫害発生の原因にもなります。

刈込み回数は、夏の生育期には月5～6回、冬の休眠期には月に1回、その他の時期は月2～3回を目安にしてください。

●生垣や植込みの簡単なお手入れ

・ポール、スライダを取外して、新芽、新葉の刈込みを行なってください。

注 意



必ず守る

- ・ 本機は芝の刈込みや、庭木の新芽、新葉の刈込みに使用してください。指定以外の用途（雑草や枝の刈込みなど）に使用しないでください。
- ・ けがや故障の原因になります。
- ・ 指定以外の用途（雑草や枝の刈込みなど）に使用すると、早期に刃物が切れなくなり、また故障の原因にもなります。

使い方

■ブレードの交換

- ・ブレードは消耗品です。切れ味が落ちたときは新しいブレードに交換されることをお勧めします。ブレードの交換は下記の手順で行なってください。

⚠ 警告



電源プラグ
を抜く

- ・ブレードを交換するときは、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。けがや感電の原因になります。

⚠ 注意



禁止

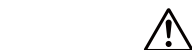
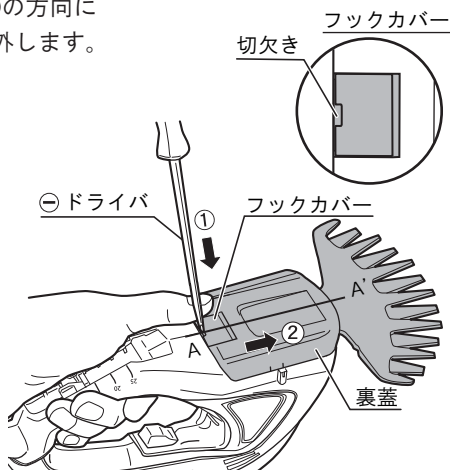
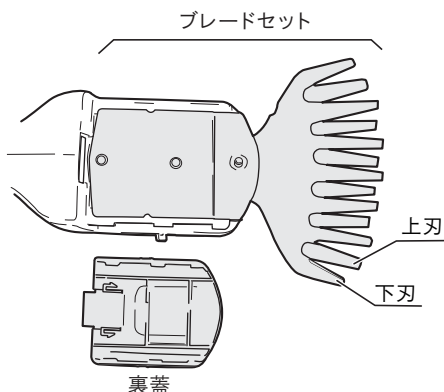


必ず守る

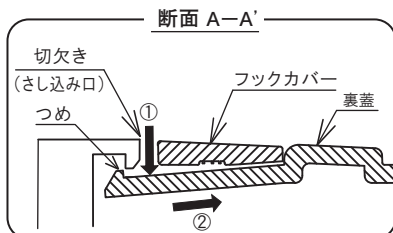
- ・作業直後のブレードは、高温になっていますので触れないでください。やけどの原因になります。
- ・ブレードを交換するときは、手袋、布などで手を保護してから行なってください。けがの原因になります。

●取外し

1. スライドまたはガラスレシーバ、キワ刈りガイドを取外します。
2. フックカバーの切欠きに⊖ドライバをさし込み、矢印①の方向に押し込んで、つめの引っ掛かりを解除します。(断面 A-A' 参照)
3. つめの引っ掛かりを解除したまま、矢印②の方向にスライドさせ、裏蓋とブレードセットを取外します。

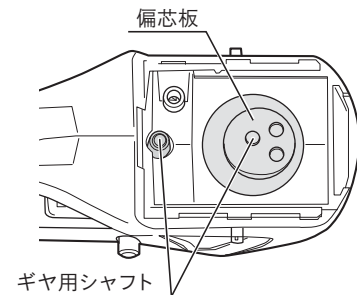


- ・上刃と下刃が上図のように交互になる位置で取外すと簡単に外れます。



●取付け

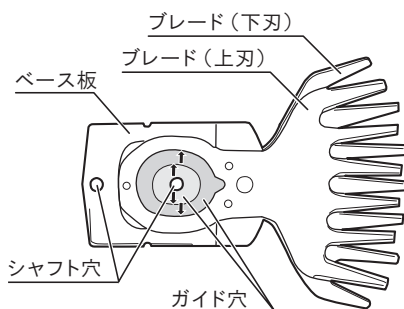
1. 偏芯板を手で回し、ギヤ用シャフトと偏芯板が図の位置になるようにします。



2. シャフト穴に対してガイド穴が左右対象になるようにブレードとベース板を動かして合わせます。

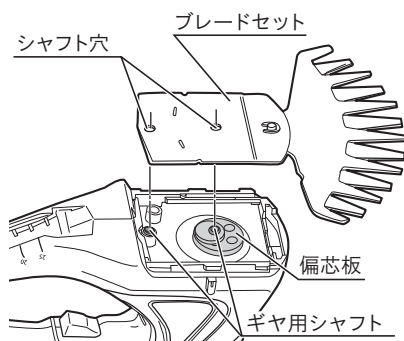


- ・取付けの際は、ガイド穴の内側（矢印）部分に少量のグリスを塗布してください。また、ブレードには機械油などの粘度の低い油を塗ってください。



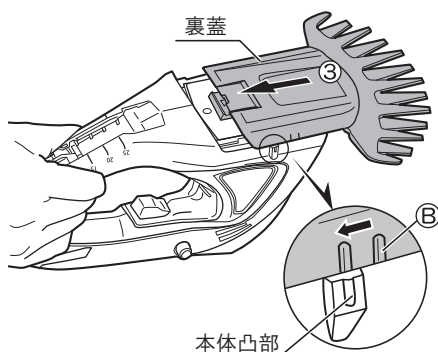
3. 2本のギヤ用シャフトと偏芯板をブレードセットのシャフト穴およびベース板のガイド穴に合わせてブレードセットを取付けます。

ベース板に2本のギヤ用シャフトが確実に納まっていることを確認してください。



使い方

4. 裏蓋でブレードセットを押さえ、本体の凸部と裏蓋側面のB部が合うように矢印③方向に裏蓋をスライドさせて取付けます。裏蓋が確実に取付いていることを確認してください。（「カチッ」と音がするまで、取付けてください。）



- ・ 偏芯板についているグリスはふき取らないでください。ゴミなどの異物が混ざった場合には、異物をきれいに取除いてください。

保守と点検

警告



電源プラグ
を抜く

- ・保守、点検などのお手入れの前には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。けがや感電の原因になります。

注意



禁止



必ず守る

- ・作業直後のブレードは、高温になっていますので触れないでください。やけどの原因になります。
- ・ブレードの取扱いには、手袋、布などで手を保護し十分注意してください。けがの原因になります。

■ブレードのお手入れ

※ ブレードのお手入れに刃研ぎ用研磨セットを別販売品として用意しておりますのでご利用ください。

- ・ブレードは硬めのブラシで表裏ともきれいに汚れを落とした後、機械油などの粘度の低い油を適量塗ってください。余った油はふき取ってください。



- ・汚れたまま放置すると、ブレードの動きが悪くなり、故障の原因になります。

- ・小石などをかみ込んでブレードにかえりが出るなど傷ついたとき、エッジが摩耗し切れ味が低下したときは、ダイヤモンドヤスリなどで修正するか、新しいブレードに交換してください。(交換方法 33 ~ 35 ページ参照)

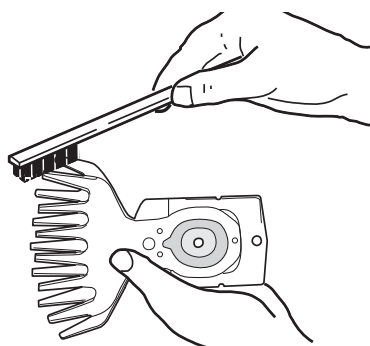
(ブレードの研磨)

- ・研磨は、ブレード側面とすり合わせ面との角が丸ならないように注意してブレード側面を研磨してください。

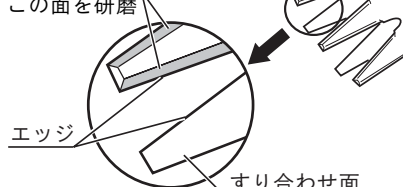


必ず守る

- ・すり合わせ面は研磨しないでください。

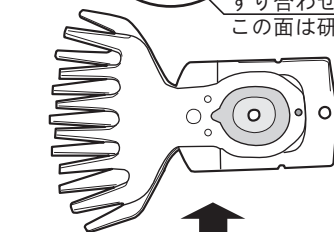


ブレード側面
この面を研磨

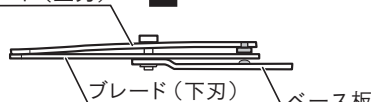


エッジ

すり合わせ面
この面は研磨しない



ブレード(上刃)



ブレード(下刃)

ベース板

保守と点検

■各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか、確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

■使用後の手入れ

⚠ 注意



必ず守る

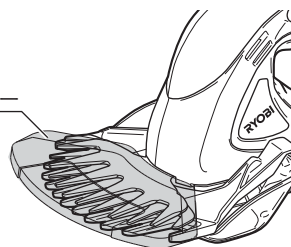
- ・市販のヤニ取りスプレーや潤滑剤を使用する場合は、ブレード以外の部品にかけないようにしてください。プラスチック部品など劣化するおそれがあります。

- ・本体は、乾いた布・せっけん水をつけた布などでふきとり、汚れを落としてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油などでの清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

■作業後の保管

- ・ブレードカバーを取付け、高温にならない乾燥した場所に保管してください。
お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところは避けてください。

ブレードカバー



■修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

保守と点検

RYOBI

持込修理

ポールバリカン 保証書

リョービポールバリカンをお買い上げいただきましてありがとうございます。
本書はご購入後から下記保証期間中に故障が発生した場合に、
本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。
詳細は下記をご参照ください。

モデル名		製造番号	
お客様	お名前		
	ご住所 〒 () 電話 ()		
お買い上げ日 年 月 日		保証期間 (お買い上げ日より) 1 年	
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号		

レシート貼付

リョービ販売株式会社
〒468-8512
愛知県名古屋市長久方1-145-1
TEL.(052) 806 - 5111

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
- ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼にならない場合には、リョービ販売営業所にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障または損傷。
(ロ) お買い上げ後の落下、引越、輸送等による故障または損傷。
(ハ) 業務用およびそれに準ずる使用をされて生じた故障または損傷。
(ニ) 本書のご提示がない場合。
(ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入または、お買い上げ年月日、販売店名を証する物（レシートなど）の添付のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
(ヘ) 付属品、別販売品や消耗品類の場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only for Japan.)
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

■修理メモ

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

お客様の個人情報は、上記の目的以外には、一切使用いたしません。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。



RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

本社 〒468-8512 愛知県名古屋市長久方1-145-1
Tel. (052)806-5111 Fax. (052) 806-5141

商品のお問い合わせ窓口

ナビダイヤル 0570-666-787

受付時間：月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、12時50分から17時30分まで